

また、フェンシング競技3種目の違いについて教えていただき、実際に構えの姿勢や、前進・後退・攻撃の際のフットワークも、実演を交えながら教えていただいた。

1～3年生では、それら3種類のフットワークを教えていただいた後、その中から千田選手が指示した通りの動きをするというゲーム形式の活動を行い、楽しみながらフェンシングに触れることができた。



上学年の講演会では、同様にご講演いただいた後、ひもを使ったゲームを行った。ひもの両端を2人の児童が持ち、「ひもを引っ張る、手から離す、何もしない」の3種類の動きの中からランダムに指示が出され、素早く正確に従った方へポイントが入るというルールで、日本代表選手も実際にウォーミングアップで行っているそうだ。児童も、ゲーム感覚で楽しみながらフェンシングに親しむことができた。



さらに、防具を身につけた本校教員に風船を取り付け、その風船を千田選手が実際にサーベルで突いて割るというデモンストレーションも見ていただいた。見ていた児童から歓声があがるなど、トップアスリーの動きを間近で見る感動を味わうことができた。



6 主な成果

- オリンピック・パラリンピック、フェンシング競技への関心を高めることができた。
- 楽しみながら体を動かす良い機会を作ることができた。
- オリンピックメダリストの動きを間近に見ることができた。
- 実際にオリンピックでメダルを獲得した元選手のお話を聞いたことで、夢を叶えたり、夢に向かって努力したりすることへの意欲が喚起できた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- コロナ対応でオンライン講演会へ切り替えた学校もある中、時期を遅らせ、感染症対策を十分に行った上で、対面形式の講演会を実施した。講演会では、オリンピックメダリストである千田選手ご本人が目の前にいる迫力を感じることができた。

8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック、パラリンピックから可能な限り時間をおかずに、実際に出場した選手の方からお話を伺うことができれば、さらに効果が上がると思われる。 • 自己実現の視点から本事業を活用することで、仙台市「たくましく生きる力」の育成も意識したプログラムが可能だと考える。そのため、たく生き授業プラン集などに関連させて実践する方法も視野に入れたい。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度と同様、自己実現に関する講演会と、ご来校いただいた方の専門とするスポーツのデモンストレーションや、その基本的な動きを生かした活動を合わせて行う形式が良かった。機会をいただけるのであれば今後もこのような形態を基本とし、様々な分野のスポーツ選手をお招きして実施したい。 • また、パラスポーツに親しむことができる活動、特に競技の特性上、運動の得意不得意にかかわらず、様々な児童が楽しみやすいボッチャや、車椅子の操作を実際に体験できる車椅子バスケットボール等が専門の方をお招きし、それらのスポーツを体験する活動にも取り組みたい。